

第 3 章

地域別まちづくり構想

<本章の趣旨>

地域住民や企業と行政が協働で、地域の生活環境の向上や地域資源を活かした魅力づくり等に取り組む指針として、地域別のまちづくりの方針を定めるものです。

地域別まちづくり構想について

1 構想の位置づけと策定手順

「全体構想」は、都市全体の骨格的な土地利用、都市交通体系等や都市施設の計画を定めたものです。「地域別まちづくり構想」は、地域住民や企業と行政が協働で、地域の生活環境の向上や地域資源を活かした魅力づくり等に取り組む指針として、地域別のまちづくりの方針を定めるものです。

各々の地域の特性を活かし、住民の意見を反映した地域別まちづくり構想とするため、各地域で開催した「地域別意見交換会」や、「美祢市のまちづくりに関するアンケート調査」の結果を参考にしながら、作成しています。

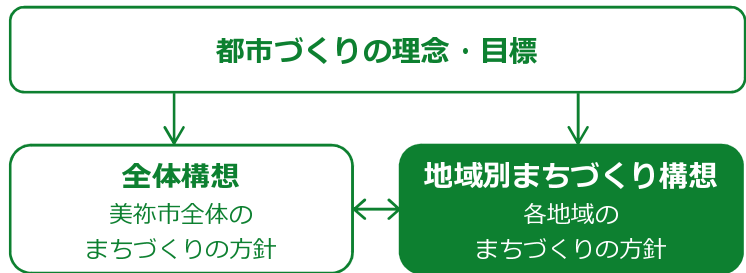


図 構想の位置づけ

2 地域区分の設定

地域別まちづくり構想の地域区分は、旧市町単位を基本として、「美祢地域」、「秋芳地域」、「美東地域」に区分し、設定します。



図 地域区分

3 地域の概況

「美祢地域」、「秋芳地域」、「美東地域」の概況は、以下のとおりです。

表 地域別の概況

		全市			
		美祢地域	秋芳地域	美東地域	
人口 (H27)		26,159 人	16,169 人	4,857 人	5,133 人
減少人口 (H27-H17)		-3,680 人	-1,585 人	-1,114 人	-981 人
人口減少率 (H27-H17)		12.3%	8.9%	18.7%	16.0%
高齢化率 (H27)		37.8%	34.5%	43.1%	43.3%
就業構造	第1次産業 (H27)	11.9%	8.2%	16.5%	17.9%
	第2次産業 (H27)	24.8%	28.9%	18.8%	19.0%
	第3次産業 (H27)	56.0%	57.4%	52.0%	56.1%
小中学校	小学校	15 校	8 校	3 校	4 校
	中学校	7 校	5 校	1 校	1 校
公民館		13 施設	5 施設	4 施設	4 施設
ジオサイト		34 箇所	9 箇所	12 箇所	12 箇所

※1 ジオサイト「赤間関街道」が3地域全体を東西に横断しているため、各地域と全市のジオサイトの箇所数の合計値は一致しない

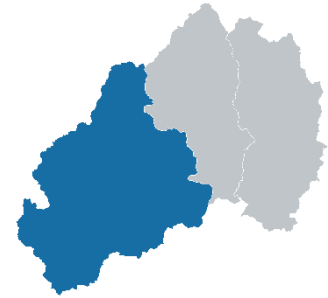
※2 小中学校の数は、平成30(2018)年1月時点のものを掲載
 平成30(2018)年3月に嘉万小学校と別府小学校が閉校予定
 (平成30(2018)年4月に秋芳桂花小学校が開校予定)
 平成31(2019)年3月に豊田前中学校閉校予定

資料 | 人口、高齢化率、就業構造：平成27年国勢調査

小・中学校、公民館：美祢市ホームページ「公共施設案内」

ジオサイト：Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会ホームページ

美祢地域のまちづくり構想



1 地域の概要

本地域は、本市の西部に位置し、全域都市計画区域で大嶺地区を中心として市街地が広がっています。



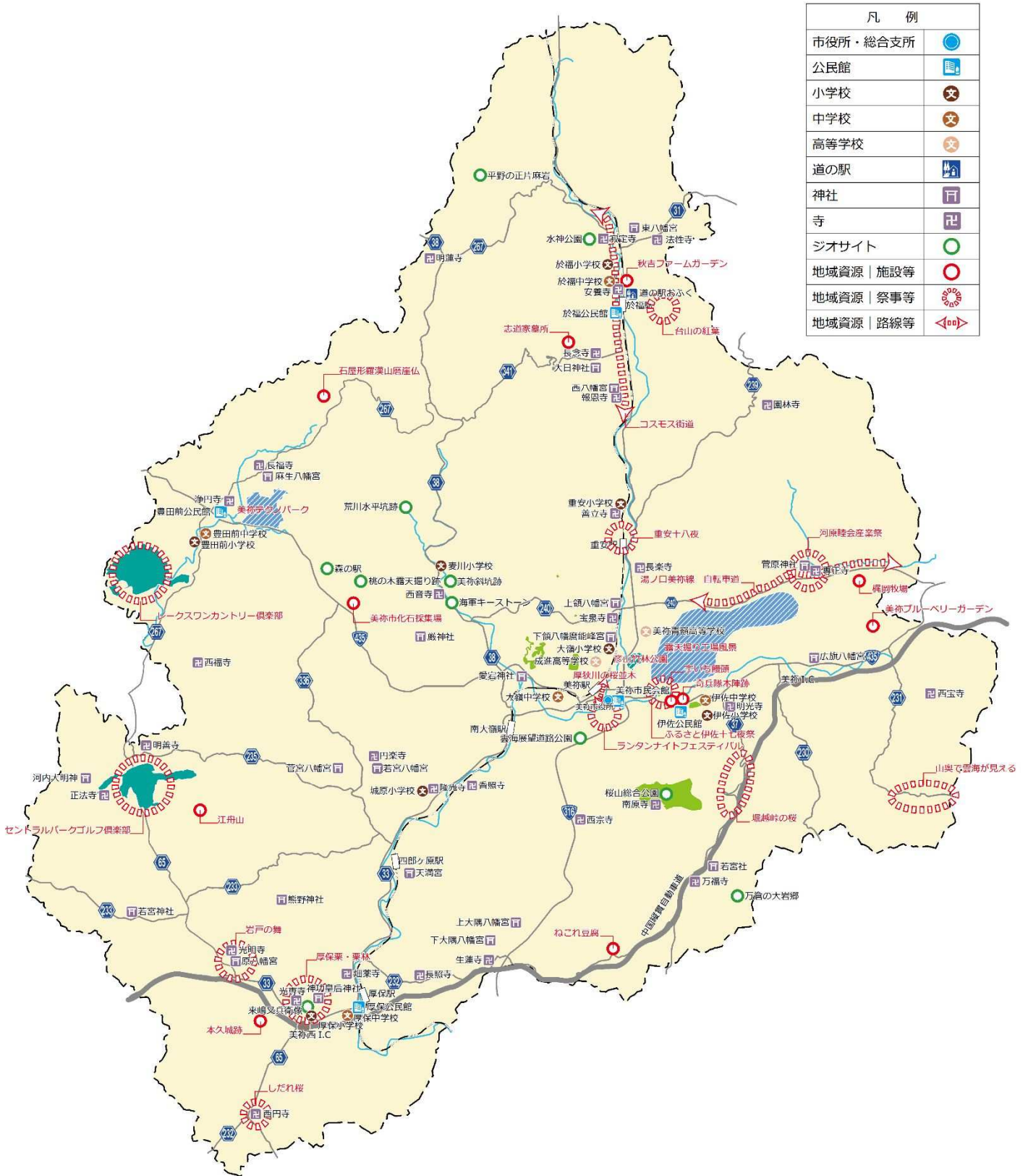
美祢地域の中心部（大嶺地区）

表 美祢地域の概要

項目	概要
人口	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内人口は約 1.6 万人（本市の 61.8%）です。 ● 高齢化率は 34.5%です。
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ● 大嶺地区を中心とした市街地に、9 種類の用途地域が指定されており、指定面積 804ha のうち、工業地域が用途地域面積の 26.1%に当たる 210ha と多くを占めています。
道路	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市計画道路（整備済み） 駅前線、国行下村線 ● 都市計画道路（一部整備済み） 渋倉伊佐線、渋倉北川線、渋倉下村線、吉則伊佐線、国行吉則線 ● 有料道路 中国縦貫自動車道 ● 一般国道 国道 316 号、国道 435 号 ● 主要地方道 山口県道 31 号美東秋芳西寺線、山口県道 33 号下関美祢線、山口県道 38 号美祢油谷線、山口県道 65 号山陽豊田線
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> ● 瀬戸内海側の山陽小野田市と日本海側の長門市を連絡する JR 美祢線が運行しています。 ● 地域内に 6 駅立地しており、美祢駅の乗降客数は 700 人/日（H26）となっています。
河川	<ul style="list-style-type: none"> ● 二級河川厚狭川が地域を流れています。 ● 厚狭川洪水ハザードマップは作成済みです。
下水道	<ul style="list-style-type: none"> ● 大嶺地区、伊佐地区に、公共下水道が整備されています。 ● 河原地区、豊田前地区に農業集落排水が整備されています。
都市公園	<ul style="list-style-type: none"> ● 桜山総合公園をはじめ、6 の都市公園が整備済みです。（街区公園 3、近隣公園 2、総合公園 1） ● 大嶺西公園（特殊公園）が一部未整備です。
学校	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校 8 校、中学校 5 校、高等学校 2 校が立地しています。
病院	<ul style="list-style-type: none"> ● 第二次緊急医療施設の美祢市立病院が立地しています。
公民館	<ul style="list-style-type: none"> ● 美祢市民会館をはじめ、5 つの公民館が立地しています。
バス	<ul style="list-style-type: none"> ● アンモナイト号・ブルーラインバス・サンデンバス・船鉄バスが運行しています。 ● 山中・堀越外地区、川東・西分地区、豊田前・西厚保地区において、ミニバスが運行しています。

地域の宝マップ

美祢地域において平成 28 (2016) 年 8 月及び平成 29 (2017) 年 2 月に開催した「地域別意見交換会」の結果を参考にしながら、地域の宝マップを作成しました。今後のまちづくりを進めていくにあたって、引き続き、本地域の地域資源をまちの宝と捉え、発掘・発展・発信に努めていきます。



2 住民意向

- 本地域は、全項目の平均の満足度が 2.91 と全市平均（2.85）より高く、全項目の平均の重要度が 3.67 と全市平均（3.69）より低くなっています。
- 満足度が全市平均より低く、重要度が全市平均より高い「分類評価Ⅰ」に該当するものは 6 項目あり、安全性、利便性、にぎわいにそれぞれ 2 項目ずつ該当しています。

表 美祢地域の満足度・重要度

項目		満足度	重要度	分類評価
安全性	1 周辺の建物の不燃化や耐震化	3.13	3.56	Ⅳ
	2 土砂災害や水害などの災害対策	2.85	4.00	Ⅰ
	3 避難場所や避難路の整備など、災害時の避難環境	3.01	3.86	Ⅲ
	4 緊急車両が入れる道路の整備	3.57	3.71	Ⅲ
	5 歩道の広さ、段差の解消などの歩行者の安全性	3.11	3.72	Ⅲ
	6 夜間の街灯の設置による安全性	2.72	4.03	Ⅰ
利便性	7 バスの利用のしやすさ	2.50	3.80	Ⅰ
	8 鉄道の利用のしやすさ	2.39	3.62	Ⅱ
	9 車や徒歩などでの道路の利用しやすさ	3.38	3.64	Ⅳ
	10 保育所、幼稚園、小中学校への行きやすさ	3.08	3.63	Ⅳ
	11 買い物のしやすさ	2.94	3.79	Ⅲ
	12 銀行や郵便局など金融機関への行きやすさ	3.07	3.80	Ⅲ
	13 コミュニティ施設への行きやすさ	3.21	3.53	Ⅳ
	14 病院や福祉施設への行きやすさ	2.84	4.01	Ⅰ
快適性	15 身近な公園や広場、緑地等の整備状況	2.80	3.46	Ⅱ
	16 周辺のまちなみの美しさ	3.10	3.45	Ⅳ
	17 山・川などの自然や田畑などの田園風景	3.39	3.40	Ⅳ
	18 上水道・下水道（排水処理）等の整備状況	3.27	3.74	Ⅲ
	19 日当たりや風通しなどの周辺環境の良さ	3.64	3.43	Ⅳ
	20 騒音、振動、悪臭等の公害の少なさ	3.53	3.62	Ⅳ
にぎわい	21 商業地や商店街のにぎわい	2.15	3.70	Ⅰ
	22 祭り・イベント等によるにぎわい	2.66	3.53	Ⅱ
	23 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	2.54	3.54	Ⅱ
	24 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	2.59	3.54	Ⅱ
	25 観光によるにぎわい	2.40	3.66	Ⅱ
	26 地場産業によるにぎわい	2.40	3.76	Ⅰ
	27 娯楽施設のにぎわい	2.17	3.55	Ⅱ
全項目平均		2.91	3.67	—
全市平均		2.85	3.69	—

黄色網掛けは満足度が低く、重要度が高いもの（分類評価Ⅰ）

Ⅰ | 特に重点的に改善（満足度の向上）に取り組む必要がある

Ⅱ | 満足度は低い重要度も低い場合、優先順位が必ずしも高くない

Ⅲ | 満足度は高いが今後も取組を重点的に維持していく必要がある

Ⅳ | 満足度を維持するため、今後も取組を維持していく必要がある

表 分類評価

分類	評価	全市平均に対する満足度	全市平均に対する重要度
I	特に重点的に改善（満足度の向上）に取り組む必要がある	▼低い	▲高い
II	満足度は低いが重要度も低いため、優先順位が必ずしも高くない	▼低い	▼低い
III	満足度は高いが今後も取組を重点的に維持していく必要がある	▲高い	▲高い
IV	満足度を維持するため、今後も取組を維持していく必要がある	▲高い	▼低い

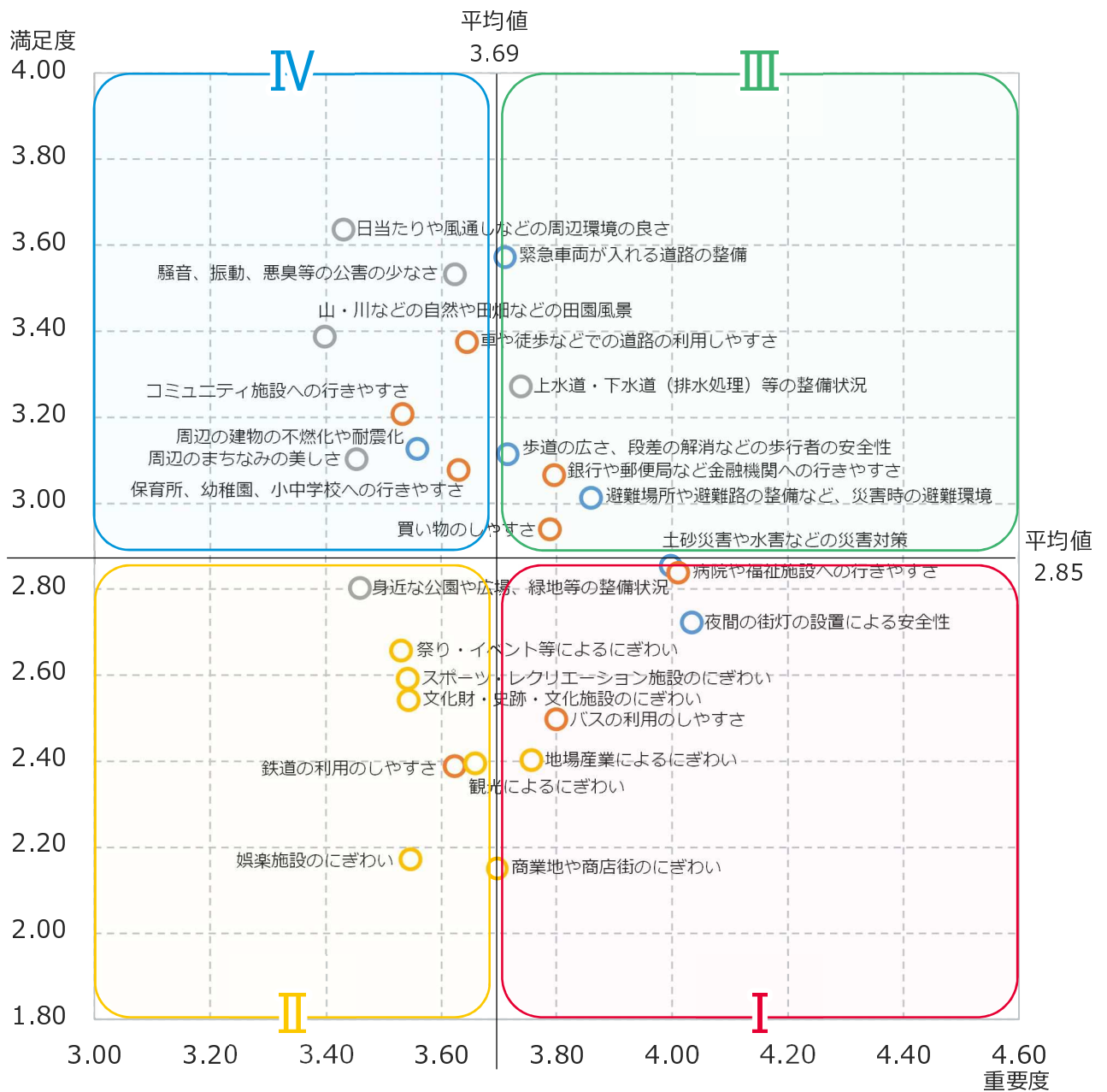
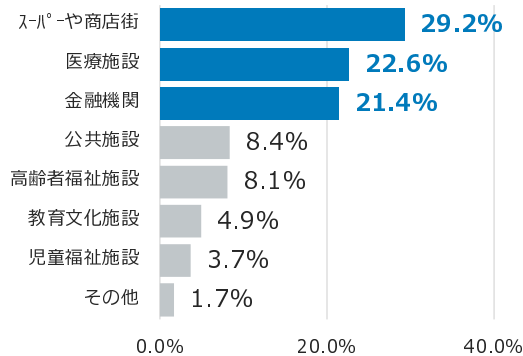
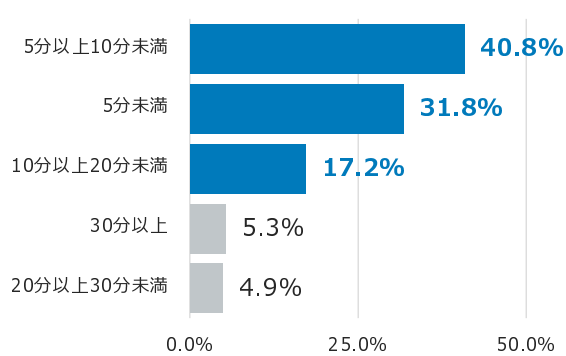


図 分類評価（美祢地域）

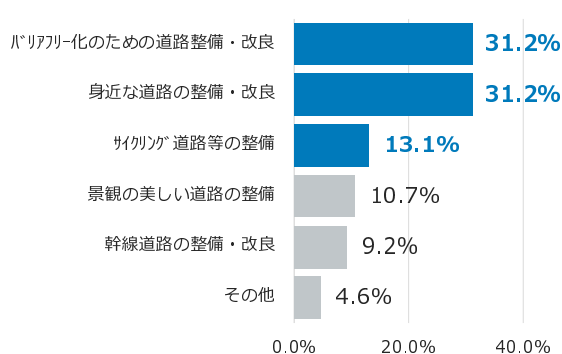
Q. 生活に必要な施設（3つまで）



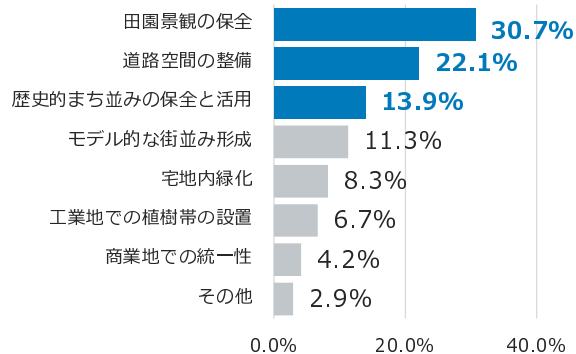
Q. バス停までの所要時間



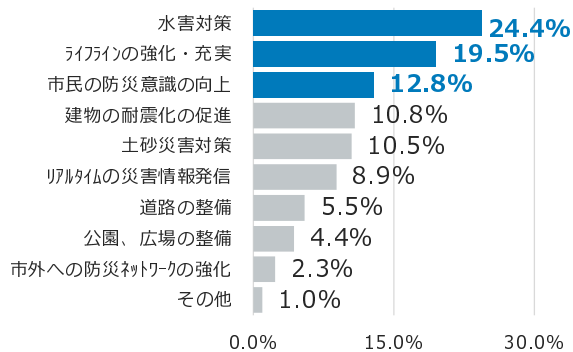
Q. 道路整備の優先順位（2つまで）



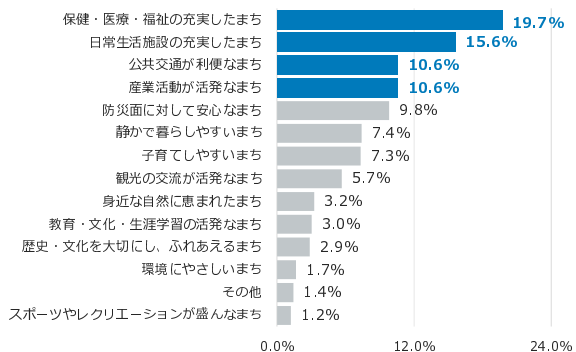
Q. 景観を守るために必要なもの（2つまで）



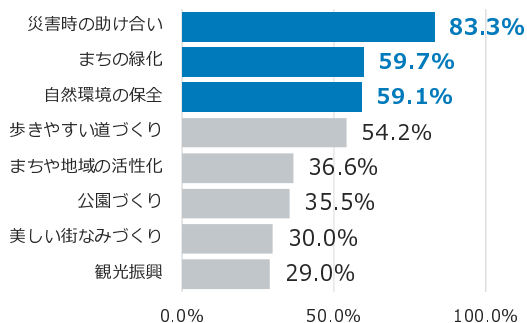
Q. 災害対策の優先順位（2つまで）



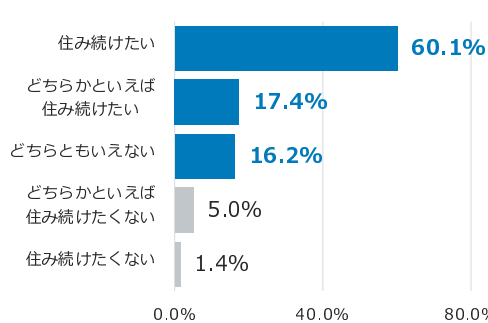
Q. 今後の重要なまちづくり（3つまで）



Q. まちづくり活動への参加意向 (参加したい、できれば参加したい)



Q. 定住意向

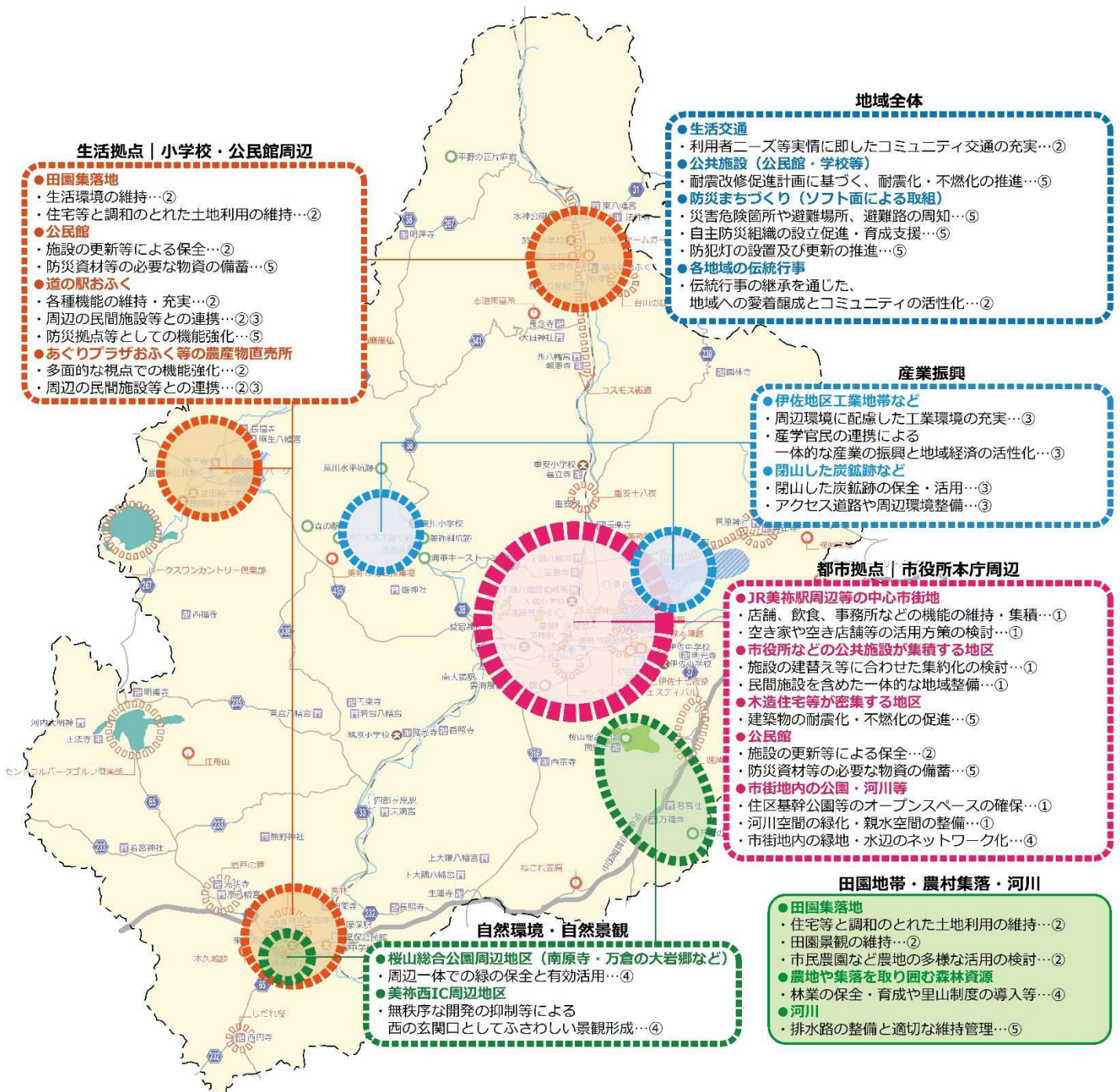


※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

3 美祢地域のまちづくり方針

快適な暮らしを牽引する活力あるまちづくり

- 取組① 魅力ある都市拠点づくり
- 取組② 住みよい集落地環境づくり
- 取組③ 地場産業を活かした賑わいづくり
- 取組④ 豊かな自然環境を活かしたまちづくり
- 取組⑤ 協働による防災まちづくり



取組① 魅力ある都市拠点づくり

< 特性と課題 >

大嶺・伊佐地区の市街地は、市役所本庁や消防署をはじめとする公共施設が多く集積するとともに、JR 美祢駅周辺等においては、店舗、飲食店、事務所、娯楽施設等の生活サービス機能が集積しており、美祢地域のみならず、本市の顔となっています。

一方で、公共施設の分散立地・老朽化の進行や、空き家・空き店舗の発生など市街地の空洞化が進行し、住民意向においても、利便性の向上や賑わいの創出が求められています。

これらのことから、市民全体の利便性を考慮しつつ、公共施設の建替え等に合わせた集約化の検討や、空き家や空き店舗の活用、地区内の環境整備等を推進し、活力と賑わいのある魅力的な都市拠点としての再生が望まれます。

取組方針

- JR 美祢駅周辺等の中心市街地は、商業・業務の拠点として、店舗、飲食店、事務所、娯楽施設等の機能の維持・集積を図るとともに、空き家や空き店舗等の活用方策を検討しながら、多様な都市機能が集積した利便性の高い市街地として、賑わい・活力等を創出する土地利用の誘導を図ります。
- 市役所や消防署等の公共施設が多く集積している地区は、現在、公共施設等が点在し、建築年数もかなり経過し老朽化が見られることから、市民の利便性等を十分に考慮しつつ、建替え等に合わせた集約化を検討するとともに、民間施設を含めた一体的な地域整備を図り、本市の顔となる業務地としての市街地環境の形成を推進します。
- 水と緑にふれあえる空間、潤いのある生活環境の形成のため、身近な住区基幹公園等のオープンスペースの確保に努めるとともに、河川空間の緑化整備等を推進し、市街地及び河川空間の一体的な緑の保全・活用を図ります。



美祢市消防署



美祢市立病院

< 地域別意見交換会での主な意見 >

【まちづくりのアイデア】

- 中心市街地の活性化（駅舎の有効活用・駅前の環境整備・駐車場の整備）
- 宿泊施設の充実（地域産業への波及効果）

取組② 住みよい集落地環境づくり

< 特性と課題 >

於福地区や豊田前地区、厚保地区等の広大な田園地帯と農村集落が広がる地域は、厚保地区の栗をはじめとする各地域の特産品等が地域の活力や風景を特徴づける貴重な地域資源となっています。

住民意向では、景観を守るために必要なものとして、「田園景観の保全」が求められています。

これらの集落地では、買い物・通院をはじめとする生活サービス機能が不足しており、住民意向では、今後の重要なまちづくりとして、「保健・医療・福祉の充実したまち」「日常生活施設の充実したまち」「公共交通が利便なまち」の実現が求められています。

これらのことから、農村等の既存集落における地域の活力やコミュニティを維持するため、現在のゆとりある居住環境を維持していくとともに、既存の生活サービス機能や生活交通の維持・確保を図っていく必要があります。

取組方針

- 田園集落地において、小学校や公民館が集積している地区を「生活拠点」と位置づけ、豊かな田園景観や山林・河川など豊かな自然を身近に感じながら暮らすことのできる居住の場として、その生活環境を維持していきます。
- 利用者ニーズ等実情に即したコミュニティ交通の充実や、多様なサービスの提供について検討し、通院や買い物など生活利便性の確保に努めます。
- 本地域内に点在する公民館は、地域のコミュニティの維持・育成のため、施設の維持・更新等に取り組みます。
- 地域の防犯及び交通安全の確保のため、住民自治組織との連携のもと、防犯灯の設置及び更新を推進します。
- 山林の豊かな緑や河川のせせらぎに囲まれ、まとまった農地が広がる田園集落地の景観を今後も維持していきます。
- 田園集落地において、営農環境と調和した土地利用を維持するため、無秩序な開発を抑制し、ほ場整備をはじめとする農業振興施策との連携のもと、良好な集落地環境を保全します。
- 美祿市内や近隣の都市住民等のレクリエーションの場や、高齢者の生きがいづくり、生徒・児童の体験学習等に資する資源として、市民農園など農地の多様な活用を検討します。
- あぐりプラザおふく等の農産物直売所は、地域の活性化や情報発信、地域の憩いの場などの公益的役割を有しており、多面的な視点での機能強化に努めます。
- 道の駅おふくは、地域にとって重要な施設として、また、観光交流のための情報発信拠点として、各種機能の維持・充実に努めるとともに、周辺の民間施設や旧市街地と連携した役割を果たします。
- 各地域に残る伝統行事の継承を通じて、地域への愛着の醸成と、コミュニティの活性化を進めます。

取組③ 地場産業を活かした賑わいづくり

< 特性と課題 >

本地域は、古くから無煙炭や石灰石の産出等により「炭鉱のまち」として発展し、現在でも石灰石の産出が行われています。また、幹線道路沿いに見られる石灰岩や、炭鉱跡、桃の木露天掘り跡等のジオサイトは、本地域を特徴づける景観を形成し、観光活性化に寄与する地域資源として保全・活用が求められます。

住民意向においても、これら炭鉱跡等の観光資源化や、観光ルート形成等が望まれており、大嶺地区等においては、今後の重要なまちづくりとして、「産業活動が活発なまち」の復活が求められています。

また、道の駅おふくや、あぐりプラザおふく等の農産物直売所を中心に、地域特産品の販売による地域 PR 及び交流人口の拡大を図っていますが、多様化する道の駅へのニーズや、施設の老朽化等への対応が求められています。住民意向においても、道の駅での各種イベント等の取組の継続や、「食」を活用した取組等が望まれています。

取組方針

- 伊佐地区に広がる鉱業など、本市の発展を支えてきた産業については、周辺環境に配慮した生産環境の充実に努めるとともに、美祿市産業振興条例に基づき、産学官民の連携による一体的な産業の振興と地域経済の活性化を図ります。
- 麦川地区等の既に閉山した炭鉱跡等については、歴史保全・観光活性化の観点から、保全・活用を図るとともに、アクセス道路や周辺環境整備等を進めます。
- 道の駅おふくや、あぐりプラザおふく等は、観光資源として、また、地域特産品の情報発信・流通の拠点として、更なる機能充実に努めるとともに、周辺に立地している地域特産品を販売する民間事業者との連携を深め、周辺一体を生産から販売までに係る地場産業の育成の場として整備を誘導します。



伊佐地区の工業集積地



道の駅おふく

<地域別意見交換会での主な意見>

【まちづくりの資源】

- 豊富な石資源やジオサイト（石炭、石灰岩、銅、万倉の大岩郷、化石採掘場 等）
- 市街地周辺の工場風景
- 厚保地区の厚保くりと栗林、伊佐地区の宇いちまんじゅう、根越地区のねこれ豆腐 等

【まちづくりのアイデア】

- 古い炭鉱坑口の一般公開、伊佐地区など工業地帯でのバスツアー 等

取組④ 豊かな自然環境を活かしたまちづくり

< 特性と課題 >

本地域は、美祢さくら公園や彦山竹林公園をはじめとする市街地内の公園・緑地が多く、景勝地としての桜山総合公園では、キャンプ場、ハイキングコース等が整備され、南原寺等の歴史的遺跡と並んで多くの人に親しまれています。

また、国指定の天然記念物である万倉の大岩郷等のジオサイトや、ゴルフ場等のレクリエーション施設、ブドウ園等の体験型観光農園など、自然体験や緑と親しむことのできるレクリエーション資源が豊富な地域となっています。

住民意向では、地域一体での桜山の環境整備等が求められています。

これらのことから、自然環境と調和した良好な都市環境を形成するため、豊かな自然環境の保全・活用を図っていく必要があります。

取組方針

- 集落地や農地を取り囲む自然緑地は、自然に親しめる資源として重要であり、林業の保全・育成等により、良好な自然環境の保全・活用を図ります。
- 桜山総合公園は、その周辺地区（桜山森林公園、南原寺、万倉の大岩郷）一体での緑の保全と有効活用に努め、自然体験や緑と親しむことのできる観光交流拠点づくりを進めます。
- 厚狭川や伊佐川等の河川を利用して、親水公園の整備や歩行者空間づくり、連続する緑の育成等を進めるとともに、これらを利用して、市街地内の社寺と一体をなす小山等の島状緑地や、緑化された公共施設及び地域内の自然緑地等とのネットワーク化を図ります。
- 美祢西 I C 周辺地区は、無秩序な開発の抑制等により、本市の西の玄関口としてふさわしい景観形成に努めます。



万倉の大岩郷



南原寺の照葉樹林

<地域別意見交換会での主な意見>

【まちづくりの資源】

- 桜の木が豊富（西円寺のしだれ桜、堀越峠の桜、市役所周辺の厚狭川の桜並木）
- 公園が多い（彦山竹林公園、美祢さくら公園、桜山総合公園、大嶺西公園、雲海展望道路公園）
- ゴルフ場等の観光レクリエーション施設が多い

【まちづくりのアイデア】

- 地域一体で、公園や河川空間の維持管理や、花壇の手入れ
- 桜山の環境整備（看板の維持管理・ハチ・クマよけ対策等）

取組⑤ 協働による防災まちづくり

< 特性と課題 >

近年、全国各地で大規模災害が多発しており、本地域においても、平成 22（2010）年 7 月 15 日、早朝からの豪雨により各地で大規模な土砂災害や浸水被害が多数発生し、人的な被害はなかったものの、市民生活や地域経済は大きな打撃を受けました。このような災害に備え、市民一人ひとりの防災意識を高めるとともに、治山・治水を推進していく必要があります。

特に、本地域は、市役所本庁や消防署等の防災拠点施設が集積しており、全市的な防災活動の役割を担っていることから、これらの公共施設をはじめとする建築物の耐震化・不燃化を推進していくことが求められます。

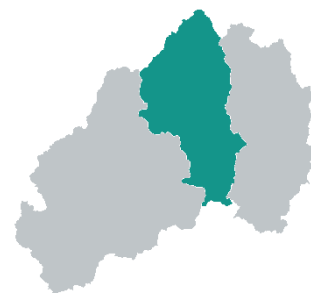
住民意向では、於福地区や東厚保地区等の地域における今後の重要なまちづくりとして、「防災面に対して安心なまちの実現」が求められており、災害対策の優先順位として、「ライフラインの強化・充実」「水害対策」等が求められています。また、まちづくり活動への参加について、「災害時の助け合い」への参加意向が高くなっています。

取組方針

- 市街地の雨水排水機能向上のため、排水路整備を推進するとともに、適切な維持管理を行います。
- 耐震改修促進計画に基づき、美祢市民会館等の避難施設や、緊急輸送道路沿道の建築物をはじめとする公共施設の耐震化・不燃化を推進するとともに、老朽建築物や旧耐震基準の建築物等の耐震改修を促進します。
- 木造住宅等が密集する地区については、重点的に建築物の耐震化・不燃化を促進します。
- 緊急輸送道路、避難路等に位置づけられている橋梁等の耐震補強等の整備を推進します。
- 公民館や教育施設等の避難所において、防災資材や生活に必要な物資の備蓄を図ります。
- 道の駅おふくは、休憩・情報発信、地域連携等の機能に加え、大規模災害時等における防災拠点や市民の避難場所としても機能するよう、管理者と連携を図ります。
- 地域の防犯及び交通安全の確保のため、住民自治組織との連携のもと、防犯灯の設置及び更新を推進します。
- 山地を原因とした自然災害から市民の生命・財産を守るとともに、水資源や緑に囲まれた豊かな生活を実現するため、県と連携を図りながら治山・治水事業を推進します。
- 「自助」「共助」の考えに基づき、市民一人ひとりの防災意識の高揚を図ることで地域の自主的な防災活動を促進し、災害に強いまちづくりを推進していきます。
- 各種ハザードマップ等の活用や住民自治組織の活動等を通じて、災害危険箇所や避難場所、避難路の周知を行うとともに、防災意識の啓発や自主防災組織の設立促進・育成支援を図ります。

第3節

秋芳地域のまちづくり構想



1 地域の概要

本地域は、本市の中央部に位置し、周囲を山地・丘陵地に囲まれた農村地域であり、秋吉台国定公園を除く地域が都市計画区域となっています。



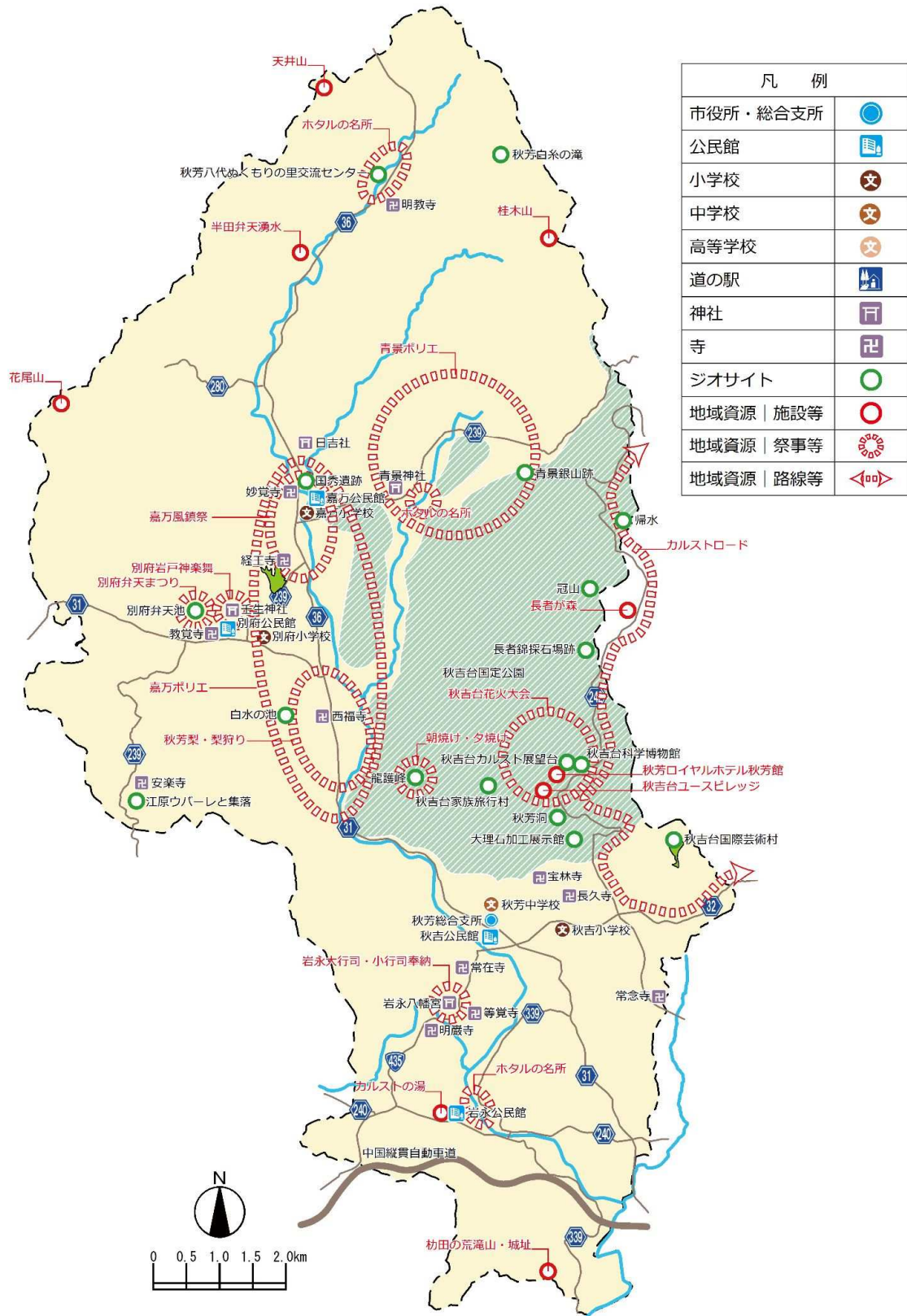
秋芳地域の中心部（秋吉地区）

表 秋芳地域の概要

項目	概要
人口	<ul style="list-style-type: none">● 地域内人口は約 4.9 千人（本市の 18.6%）です。● 高齢化率は 43.1% です。
土地利用	<ul style="list-style-type: none">● 秋吉地区を中心に既存集落や田園集落が広がっています。
道路	<ul style="list-style-type: none">● 有料道路 中国縦貫自動車道● 一般国道 国道 435 号● 主要地方道 山口県道 31 号美東秋芳西寺線、山口県道 36 号秋芳三隅線
鉄道	—
河川	<ul style="list-style-type: none">● 二級河川厚東川が地域を流れています。● 厚東川洪水ハザードマップは作成済みです。
下水道	<ul style="list-style-type: none">● 秋芳洞周辺にコミュニティプラントが整備されています。● 別府地区に農業集落排水が整備されています。
都市公園等	<ul style="list-style-type: none">● 秋芳北部総合運動公園をはじめ、2 箇所の都市公園が整備済みです。（運動公園 1、総合公園 1）● 秋吉台国定公園（自然公園）が立地しています。
学校	<ul style="list-style-type: none">● 小学校 3 校、中学校 1 校が立地しています。
病院	—
公民館	<ul style="list-style-type: none">● 秋吉公民館をはじめ、4 つの公民館が立地しています。
バス	<ul style="list-style-type: none">● アンモナイト号・サンデンバス・防長バス・中国 JR バスが運行しています。● 秋芳地域北部、秋芳地域南部において、ミニバスが運行しています。

地域の宝マップ

秋芳地域において平成 28 (2016) 年 8 月及び平成 29 (2017) 年 2 月に開催した「地域別意見交換会」の結果を参考にしながら、地域の宝マップを作成しました。今後のまちづくりを進めていくにあたって、引き続き、本地域の地域資源をまちの宝と捉え、発掘・発展・発信に努めていきます。



2 住民意向

- 本地域は、全項目の平均の満足度が 2.75 と全市平均（2.85）より低く、全項目の平均の重要度が 3.70 と全市平均（3.69）より高くなっています。
- 満足度が全市平均より低く、重要度が全市平均より高い「分類評価Ⅰ」に該当するものは 9 項目あり、内 5 項目が利便性、3 項目がにぎわいに該当するものになっています。

表 秋芳地域の満足度・重要度

項目		満足度	重要度	分類評価
安全性	1 周辺の建物の不燃化や耐震化	3.13	3.40	Ⅳ
	2 土砂災害や水害などの災害対策	3.05	3.77	Ⅲ
	3 避難場所や避難路の整備など、災害時の避難環境	3.06	3.73	Ⅲ
	4 緊急車両が入れる道路の整備	3.53	3.73	Ⅲ
	5 歩道の広さ、段差の解消などの歩行者の安全性	3.25	3.72	Ⅲ
	6 夜間の街灯の設置による安全性	2.33	4.10	Ⅰ
利便性	7 バスの利用のしやすさ	2.43	4.03	Ⅰ
	8 鉄道の利用のしやすさ	1.89	3.42	Ⅱ
	9 車や徒歩などでの道路の利用しやすさ	3.14	3.79	Ⅲ
	10 保育所、幼稚園、小中学校への行きやすさ	2.79	3.78	Ⅰ
	11 買い物のしやすさ	2.14	3.99	Ⅰ
	12 銀行や郵便局など金融機関への行きやすさ	2.78	3.91	Ⅰ
	13 コミュニティ施設への行きやすさ	3.03	3.70	Ⅲ
	14 病院や福祉施設への行きやすさ	2.45	4.21	Ⅰ
快適性	15 身近な公園や広場、緑地等の整備状況	2.74	3.40	Ⅱ
	16 周辺のまちなみの美しさ	3.01	3.39	Ⅳ
	17 山・川などの自然や田畑などの田園風景	3.32	3.42	Ⅳ
	18 上水道・下水道（排水処理）等の整備状況	3.01	3.85	Ⅲ
	19 日当たりや風通しなどの周辺環境の良さ	3.56	3.42	Ⅳ
	20 騒音、振動、悪臭等の公害の少なさ	3.73	3.53	Ⅳ
にぎわい	21 商業地や商店街のにぎわい	1.93	3.78	Ⅰ
	22 祭り・イベント等によるにぎわい	2.38	3.62	Ⅱ
	23 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	2.45	3.51	Ⅱ
	24 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	2.45	3.48	Ⅱ
	25 観光によるにぎわい	2.38	3.92	Ⅰ
	26 地場産業によるにぎわい	2.23	3.95	Ⅰ
	27 娯楽施設のにぎわい	2.09	3.43	Ⅱ
全項目平均		2.75	3.70	—
全市平均		2.85	3.69	—

黄色網掛けは満足度が低く、重要度が高いもの（分類評価Ⅰ）

Ⅰ | 特に重点的に改善（満足度の向上）に取り組む必要がある

Ⅱ | 満足度は低い重要度も低いため、優先順位が必ずしも高くない

Ⅲ | 満足度は高いが今後も取組を重点的に維持していく必要がある

Ⅳ | 満足度を維持するため、今後も取組を維持していく必要がある

表 分類評価

分類	評価	全市平均に対する満足度	全市平均に対する重要度
I	特に重点的に改善（満足度の向上）に取り組む必要がある	▼低い	▲高い
II	満足度は低いが重要度も低いため、優先順位が必ずしも高くない	▼低い	▼低い
III	満足度は高いが今後も取組を重点的に維持していく必要がある	▲高い	▲高い
IV	満足度を維持するため、今後も取組を維持していく必要がある	▲高い	▼低い

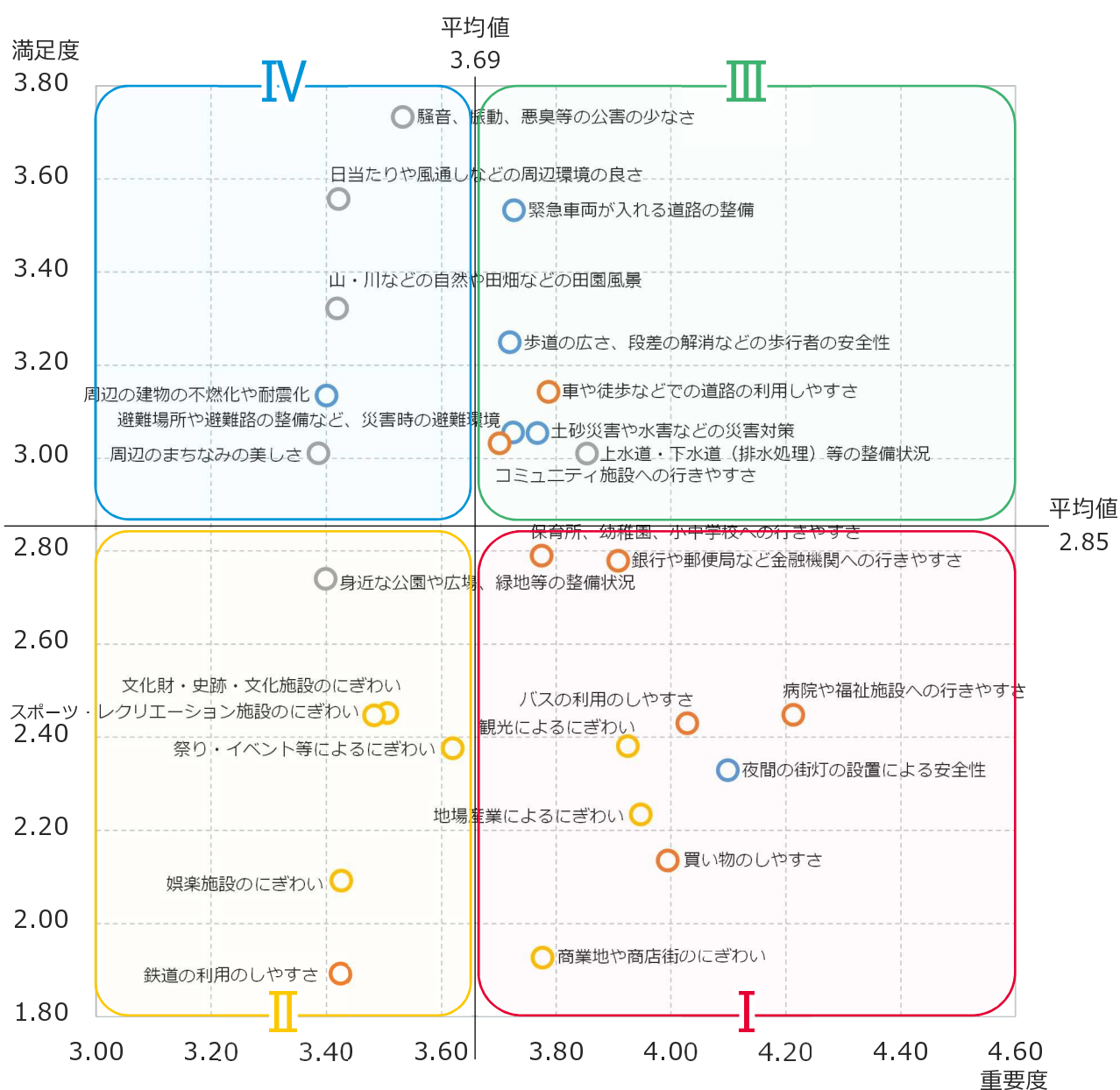
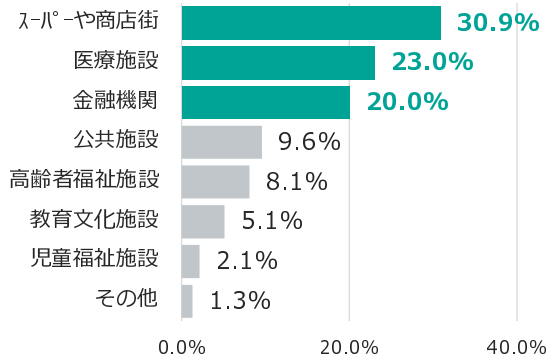
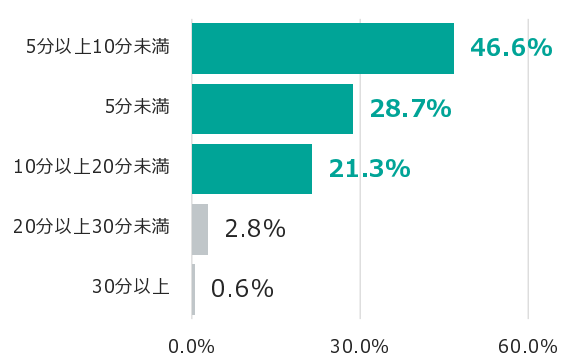


図 分類評価（秋芳地域）

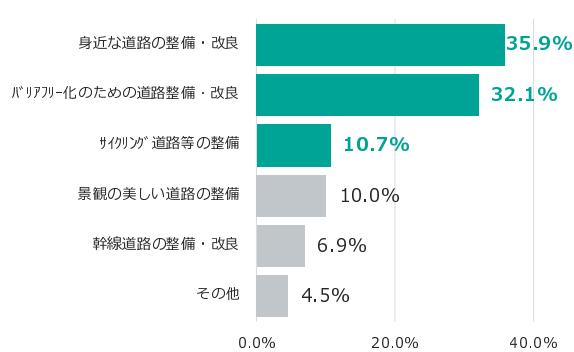
Q. 生活に必要な施設（3つまで）



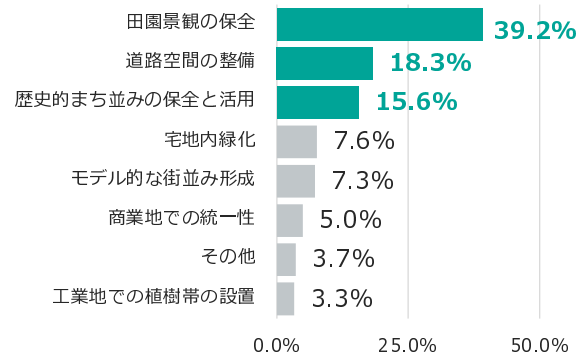
Q. バス停までの所要時間



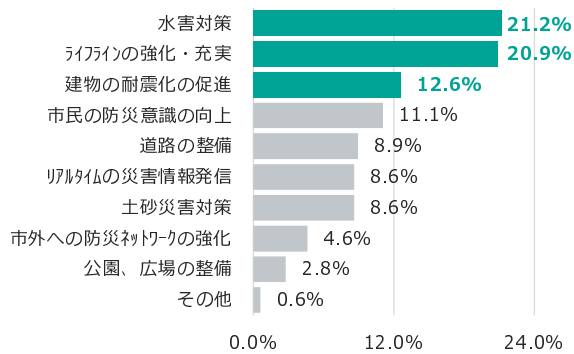
Q. 道路整備の優先順位（2つまで）



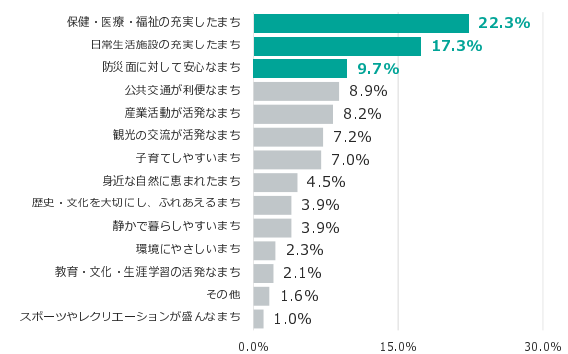
Q. 景観を守るために必要なもの（2つまで）



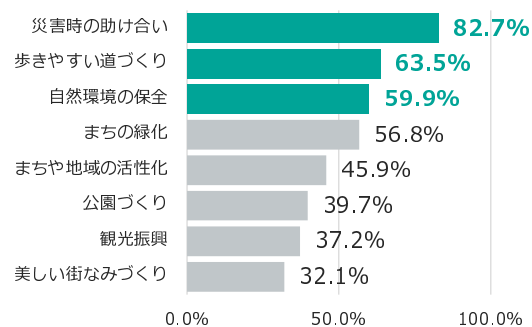
Q. 災害対策の優先順位（2つまで）



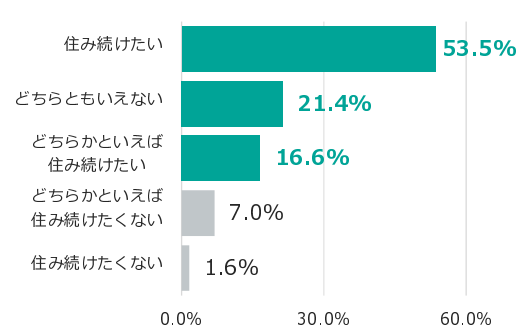
Q. 今後の重要なまちづくり（3つまで）



Q. まちづくり活動への参加意向 (参加したい、できれば参加したい)



Q. 定住意向

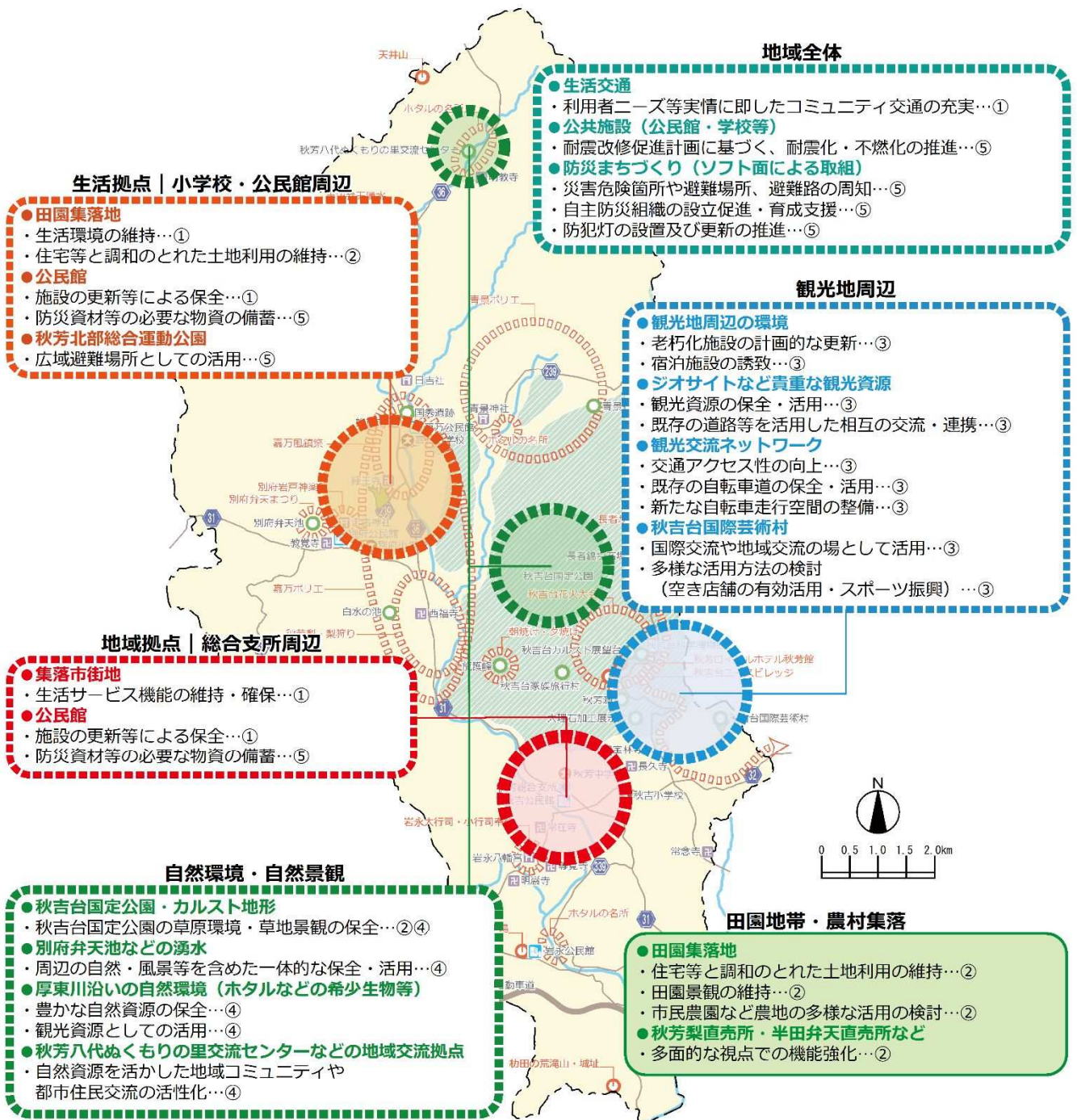


※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

3 秋芳地域のまちづくり方針

豊かな自然に囲まれた緑と清流のまちづくり

- 取組① 住み続けられる集落市街地環境づくり
- 取組② 豊かな田園景観を大切にしたまちづくり
- 取組③ 魅力ある観光地づくり
- 取組④ 豊かな水や緑と調和したまちづくり
- 取組⑤ 協働による防災まちづくり



取組① 住み続けられる集落市街地環境づくり

< 特性と課題 >

秋芳町秋吉地区の集落市街地は、秋芳総合支所等の公共施設や、店舗や病院等の生活サービス機能が集積しており、地域拠点として本地域全体の日常生活と地域活動を支える役割を果たしています。

住民意向では、本地域における今後の重要なまちづくりとして、「保健・医療・福祉の充実したまち」「日常生活施設の充実したまち」の実現が求められています。

これらのことから、集落市街地は、秋芳地域の生活を支える地域として、既存の各種機能の維持・充実に努める必要があります。

取組方針

- 秋芳町秋吉地区の集落市街地は、本地域全体の日常生活と地域活動を支える地域拠点として、秋芳総合支所をはじめとする公共施設の維持を図るとともに、住民の生活サービス機能の維持・確保に努めます。
- 田園集落地において、小学校や公民館が集積している地区を「生活拠点」と位置づけ、豊かな田園景観や山林・河川など豊かな自然を身近に感じながら暮らすことのできる居住の場として、その生活環境を維持していきます。
- 本地域内に点在する公民館は、地域のコミュニティの維持・育成のため、施設の維持・更新等に取り組みます。
- 利用者ニーズ等実情に即したコミュニティ交通の充実や、多様なサービスの提供について検討し、通院や買い物など生活利便性の確保に努めます。



秋芳総合支所



秋吉公民館

< 地域別意見交換会での主な意見 >

【まちづくりのアイデア】

- 便利で安全なまちづくり（利便性の高い地区へのスーパー等商業施設の誘致）
- 定住促進（古民家など空き家の活用・廃校利用と管理者担い手の確保） 等

取組② 豊かな田園景観を大切にしまちづくり

< 特性と課題 >

本地域は、厚東川とその支流沿いに田園・集落地が広がり、別府地区の梨をはじめとする各地域の特産品は地域の活力や風景を特徴づける貴重な地域資源となっています。また、秋吉台においては、かつて、平坦地や丘陵地は採草放牧地、窪地（ドリーネ）は畑という土地利用がなされており、現在のような草地景観が形成・維持されています。

住民意向では、景観を守るために必要なものとして、「田園景観の保全」が求められています。

これらのことから、農村等の既存集落における地域の活力やコミュニティを維持するため、良好な営農環境や居住環境の維持に努めるとともに、農地と集落が一体となった田園景観や、火入れ等により維持されてきた秋吉台の草地景観について、地域を特徴づける良好な自然景観として保全していく必要があります。

取組方針

- 山林の豊かな緑や河川のせせらぎに囲まれ、まとまった農地が広がる田園景観を維持していきます。
- 田園集落地において、営農環境と調和した土地利用を維持するため、無秩序な開発を抑制し、農業振興施策との連携のもと、良好な集落環境を保全します。
- 古くから継承されてきた秋吉台の採草放牧地や窪地（ドリーネ）からなる草地景観は、歴史的価値を有する風景として、適切な保全を図ります。
- 美祢市内や近隣の都市住民等のレクリエーションの場や、高齢者の生きがいづくり、生徒・児童の体験学習等に資する資源として、市民農園など農地の多様な活用を検討します。
- 農産物直売所は、地域の活性化や情報発信、地域の憩いの場などの公益的役割を有しており、多面的な視点での機能強化に努めます。



田園景観（別府地区）



秋吉台山焼き

< 地域別意見交換会での主な意見 >

【まちづくりの資源】

- カルスト地形（ドリーネ、ウバーレ、ポリエ）と秋吉台の草原・樹木（紅葉、ススキ）
- 秋芳三山（天井山・花尾山・桂木山）からの眺望
- 秋吉台や龍護峰からの眺望（朝焼け・夕焼け（平家焼け）・雲海）

取組③ 魅力ある観光地づくり

< 特性と課題 >

本地域は、国内最大級のカルスト台地で国定公園及び特別天然記念物に指定されている秋吉台や、秋吉台の地下 100m にある国内屈指の大鍾乳洞で特別天然記念物に指定されている秋芳洞をはじめとする豊かな自然と観光資源を有しています。

これらの資源は、本市の観光振興において重要な役割を担っており、近年ではトレイルランニング大会をはじめとする多様な活用がなされていますが、秋吉台科学博物館など関連施設の老朽化や、周辺の店舗・宿泊施設の減少等が問題となっています。

住民意向では、「観光によるにぎわい」や「商業地や商店街のにぎわい」が求められています。

これらのことから、観光振興施策と連携しながら、観光地周辺の環境整備や店舗・宿泊施設の再生等を推進し、魅力的で持続可能な観光地づくりを推進する必要があります。

取組方針

- ジオサイトをはじめとする貴重な観光資源は、その保全と活用を図るとともに、既存の道路・自転車道等を活用した、相互の交流・連携を図ります。
- 秋吉台や秋芳洞周辺の老朽化した施設等については、国際観光の振興にも資する観点から計画的な更新・再生を行い、観光客の受入環境の向上を図ります。
- 観光活性化と地元産業の振興のため、交通アクセス性の向上を図るとともに、観光まちづくりの拠点となる宿泊施設の誘致や空き家の有効活用も視野に入れた民泊サービスの促進に努めます。
- 観光交流ネットワークの形成のため、県道 501 号山口秋吉台公園自転車道線等の既存の自転車道の保全・活用を図るとともに、新たな自転車走行空間の整備を推進し、自転車の利用促進を図ります。
- 国内外の様々なアーティストが利用する滞在型芸術文化施設である秋吉台国際芸術村は、芸術文化を通じた国際交流や地域交流の場として活用を図っていきます。また、秋吉台国際芸術村を利用するアーティストによる空き店舗の有効活用の検討や、スポーツ振興に係る施設利用など、多様な活用方法を検討します。



秋吉台トレイル



秋芳洞商店街



秋吉台科学博物館

< 地域別意見交換会での主な意見 >

【まちづくりのアイデア】

- 秋芳洞周辺の飲食店・土産店等の総合的な整備（空き店舗の活用等）
- 秋吉台科学博物館の改修
- 地域と行政連携による自転車道の維持管理（道路清掃、草刈り、看板等のペンキ塗り等）

取組④ 豊かな水や緑と調和したまちづくり

< 特性と課題 >

本地域は、古くから地域の人々の生活用水や農業用水等に広く利用され、地域住民の生活や生業に深く結びついた湧水などの豊富な水資源があり、現在では日常生活や生産活動のみならず、観光資源として周辺の自然や景観・風景等を含めた一体的な保全・活用がなされています。また、地域内を流れる厚東川流域には、ホタル等の希少生物も見られ、秋芳八代ぬくもりの里交流センター等を拠点として、その豊かな自然資源を活かした地域活動や都市住民との交流が行われています。

住民意向では、まちづくり活動への参加について、「自然環境の保全」への参加意向が高くなっています。

これらのことから、古くから本地域の日常生活と密接な関係にある豊かな自然環境を保全するとともに、地域コミュニティ活動の活性化や、都市住民との交流、観光活性化に寄与する地域資源として、より一層の有効活用を図る必要があります。

取組方針

- 地域の貴重な資源である別府弁天池や白水の池等をはじめとする湧水は、地域の生態系の維持・保全に努め、周辺の自然環境や風景等と調和した保全・活用を推進します。
- 厚東川沿いの自然環境は、その保全に努めるとともに、観光資源としての活用を図ります。また、秋芳八代ぬくもりの里交流センター等を拠点として、自然資源を活かした地域コミュニティや都市住民交流の活性化を図ります。
- ジオパーク活動の一環として、地域住民の協力による秋吉台の草原環境の保全に積極的に取り組みます。



白水の池



別府弁天池

< 地域別意見交換会での主な意見 >

【まちづくりの資源】

- 厚東川流域のホタル等の希少生物
- 秋芳白糸の滝（秋芳大滝）
- 白水の池・別府弁天池・半田弁天湧水（日本名水百選）等の湧水
- 秋芳梨と梨狩り体験・秋芳そば・八代のわさび、弁天池周辺のぶどう・ニジマス

【まちづくりのアイデア】

- 情報発信・観光体験ツアー等の開催
- マスメディア等を活用したさらなる観光情報発信
- 全市一体で、ジオサイトを活かしたまちづくり

取組⑤ 協働による防災まちづくり

< 特性と課題 >

本地域は、田園地帯と農村集落が厚東川沿いに広がっていますが、大雨・洪水による浸水災害等の災害リスクの高い地区が存在しており、山口県により河川改修整備が進められています。厚東川は、一部に未整備区間が残っており、早期の河川改修が大きな課題となっています。

住民意向では、本地域における今後の重要なまちづくりとして、「防災面に対して安心なまちの実現」が求められており、災害対策の優先順位として、「水害対策」「ライフラインの強化・充実」「建物の耐震化の促進」が求められています。また、まちづくり活動への参加について、「災害時の助け合い」への参加意向が高くなっています。

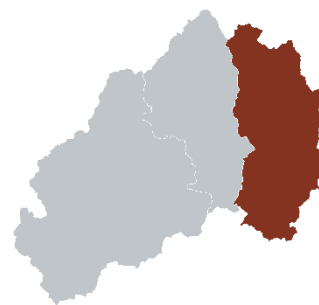
これらのことから、関係機関等との連携のもと、総合的な治水対策等を推進するとともに、市民や企業の「自助」「共助」を支援し、地域における防災力の向上を図ることが求められます。

取組方針

- 耐震改修促進計画に基づき、秋吉公民館等の避難施設や、緊急輸送道路沿道の建築物をはじめとする公共施設の耐震化・不燃化を推進するとともに、老朽建築物や旧耐震基準の建築物等の耐震改修を促進します。
- 緊急輸送道路、避難路等に位置づけられている橋梁等の耐震補強等の整備を推進します。
- 公民館や教育施設等の避難所において、防災資材や生活に必要な物資の備蓄を図ります。
- 秋芳北部総合運動公園は、大規模レクリエーション施設としての機能に加え、大規模災害時等における広域避難場所としても機能するよう、管理者と連携を図ります。
- 地域の防犯及び交通安全の確保のため、住民自治組織との連携のもと、防犯灯の設置及び更新を推進します。
- 山地を原因とした自然災害から市民の生命・財産を守るとともに、水資源や緑に囲まれた豊かな生活を実現するため、県と連携を図りながら治山・治水事業を推進します。
- 「自助」「共助」の考えに基づき、市民一人ひとりの防災意識の高揚を図ることで地域の自主的な防災活動を促進し、災害に強いまちづくりを推進していきます。
- 各種ハザードマップ等の活用や住民自治組織の活動等を通じて、災害危険箇所や避難場所、避難路の周知を行うとともに、防災意識の啓発や自主防災組織の設立促進・育成支援を図ります。

第4節

美東地域のまちづくり構想



1 地域の概要

本地域は、本市の東部に位置し、周囲を山地・丘陵地に囲まれた農村地域です。全域都市計画区域外となっています。



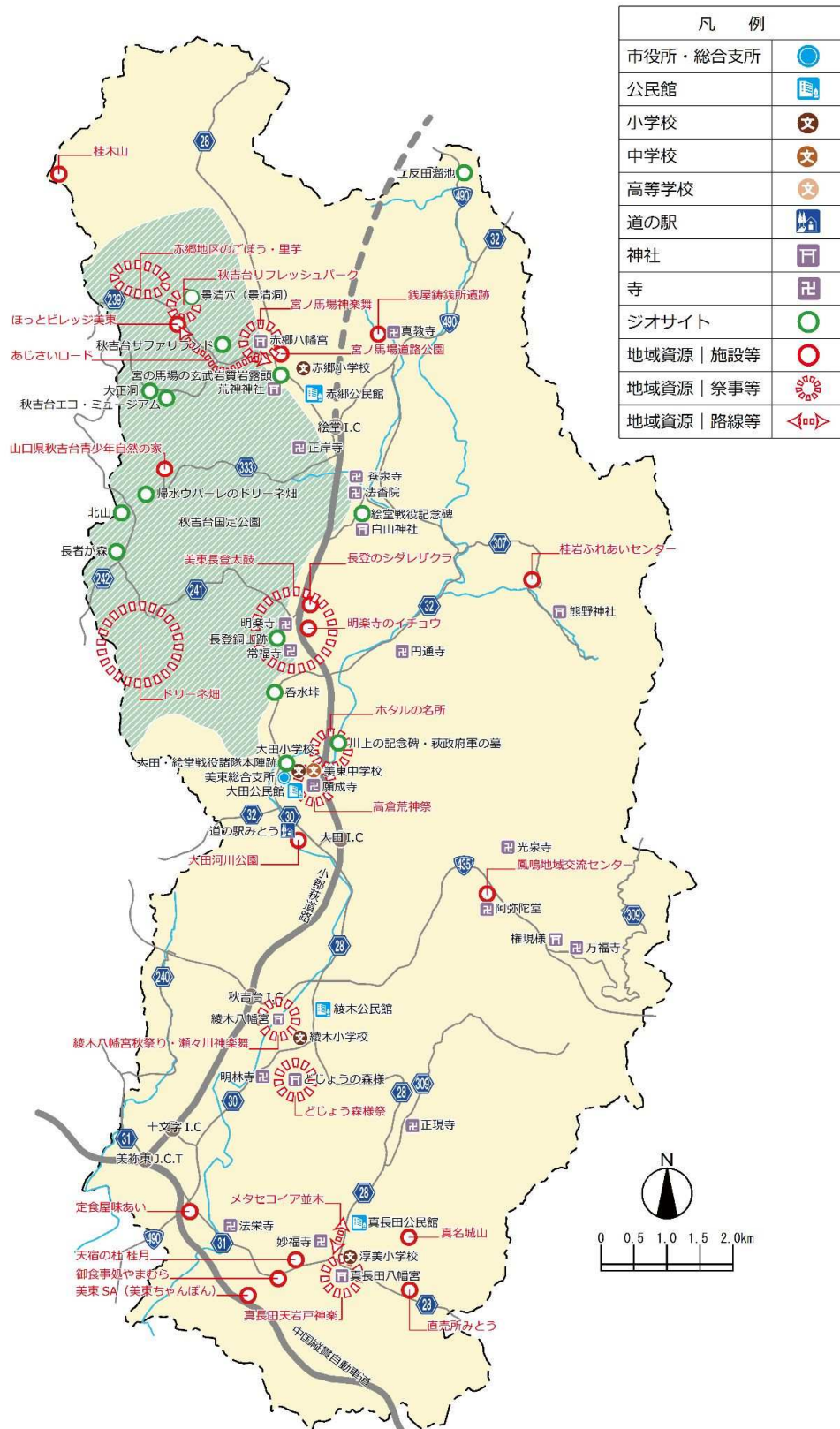
美東地域の中心部（大田地区）

表 美東地域の概要

項目	概要
人口	<ul style="list-style-type: none">● 地域内人口は約 5.1 千人（本市の 19.6%）です。● 高齢化率は 43.3% です。
土地利用	<ul style="list-style-type: none">● 大田地区を中心に既存集落や田園集落が広がっています。
道路	<ul style="list-style-type: none">● 有料道路 中国縦貫自動車道、地域高規格道路小郡萩道路（一部供用）● 一般国道 国道 435 号、国道 490 号● 主要地方道 山口県道 28 号小郡三隅線、山口県道 31 号美東秋芳西寺線、山口県道 32 号萩秋芳線
鉄道	—
河川	<ul style="list-style-type: none">● 厚東川水系の支流である二級河川大田川が地域を流れています。● 大田川洪水ハザードマップは作成済みです。
下水道	<ul style="list-style-type: none">● 大田地区に農業集落排水が整備されています。
都市公園等	<ul style="list-style-type: none">● 秋吉台国定公園（自然公園）が立地しています。
学校	<ul style="list-style-type: none">● 小学校 4 校、中学校 1 校が立地しています。
病院	<ul style="list-style-type: none">● 美祢市立美東病院が立地しています。
公民館	<ul style="list-style-type: none">● 大田公民館をはじめ、4 つの公民館が立地しています。
バス	<ul style="list-style-type: none">● アンモナイト号・防長バス・中国 JR バス・宇部市営バスが運行しています。● 美東地域北部、美東地域南部において、ミニバスが運行しています。

地域の宝マップ

美東地域において平成 28 (2016) 年 8 月及び平成 29 (2017) 年 2 月に開催した「地域別意見交換会」の結果を参考にしながら、地域の宝マップを作成しました。今後のまちづくりを進めていくにあたって、引き続き、本地域の地域資源をまちの宝と捉え、発掘・発展・発信に努めていきます。



2 住民意向

- 本地域は、全項目の平均の満足度が 2.79 と全市平均（2.85）より低く、全項目の平均の重要度が 3.68 と全市平均（3.69）より低くなっています。
- 満足度が全市平均より低く、重要度が全市平均より高い「分類評価Ⅰ」に該当するものは 8 項目あり、内 5 項目が利便性に該当するものになっています。

表 美東地域の満足度・重要度

	項目	満足度	重要度	分類評価
安全性	1 周辺の建物の不燃化や耐震化	3.16	3.43	Ⅳ
	2 土砂災害や水害などの災害対策	3.02	3.86	Ⅲ
	3 避難場所や避難路の整備など、災害時の避難環境	3.06	3.81	Ⅲ
	4 緊急車両が入れる道路の整備	3.62	3.55	Ⅳ
	5 歩道の広さ、段差の解消などの歩行者の安全性	3.41	3.56	Ⅳ
	6 夜間の街灯の設置による安全性	2.60	4.04	Ⅰ
利便性	7 バスの利用のしやすさ	2.31	3.94	Ⅰ
	8 鉄道の利用のしやすさ	1.91	3.22	Ⅱ
	9 車や徒歩などでの道路の利用しやすさ	3.37	3.66	Ⅳ
	10 保育所、幼稚園、小中学校への行きやすさ	2.82	3.84	Ⅰ
	11 買い物のしやすさ	2.14	4.09	Ⅰ
	12 銀行や郵便局など金融機関への行きやすさ	2.65	3.99	Ⅰ
	13 コミュニティ施設への行きやすさ	2.93	3.68	Ⅳ
	14 病院や福祉施設への行きやすさ	2.47	4.16	Ⅰ
快適性	15 身近な公園や広場、緑地等の整備状況	2.70	3.48	Ⅱ
	16 周辺のまちなみの美しさ	3.18	3.44	Ⅳ
	17 山・川などの自然や田畑などの田園風景	3.64	3.47	Ⅳ
	18 上水道・下水道（排水処理）等の整備状況	2.84	3.98	Ⅰ
	19 日当たりや風通しなどの周辺環境の良さ	3.71	3.48	Ⅳ
	20 騒音、振動、悪臭等の公害の少なさ	3.77	3.48	Ⅳ
にぎわい	21 商業地や商店街のにぎわい	1.90	3.59	Ⅱ
	22 祭り・イベント等によるにぎわい	2.55	3.49	Ⅱ
	23 文化財・史跡・文化施設のにぎわい	2.49	3.53	Ⅱ
	24 スポーツ・レクリエーション施設のにぎわい	2.47	3.52	Ⅱ
	25 観光によるにぎわい	2.42	3.65	Ⅱ
	26 地場産業によるにぎわい	2.23	3.87	Ⅰ
	27 娯楽施設のにぎわい	2.04	3.46	Ⅱ
全項目平均		2.79	3.68	—
全市平均		2.85	3.69	—

黄色網掛けは満足度が低く、重要度が高いもの（分類評価Ⅰ）

Ⅰ | 特に重点的に改善（満足度の向上）に取り組む必要がある

Ⅱ | 満足度は低い重要度も低いため、優先順位が必ずしも高くない

Ⅲ | 満足度は高いが今後も取組を重点的に維持していく必要がある

Ⅳ | 満足度を維持するため、今後も取組を維持していく必要がある

表 分類評価

分類	評価	全市平均に対する満足度	全市平均に対する重要度
I	特に重点的に改善（満足度の向上）に取り組む必要がある	▼低い	▲高い
II	満足度は低いが重要度も低いため、優先順位が必ずしも高くない	▼低い	▼低い
III	満足度は高いが今後も取組を重点的に維持していく必要がある	▲高い	▲高い
IV	満足度を維持するため、今後も取組を維持していく必要がある	▲高い	▼低い

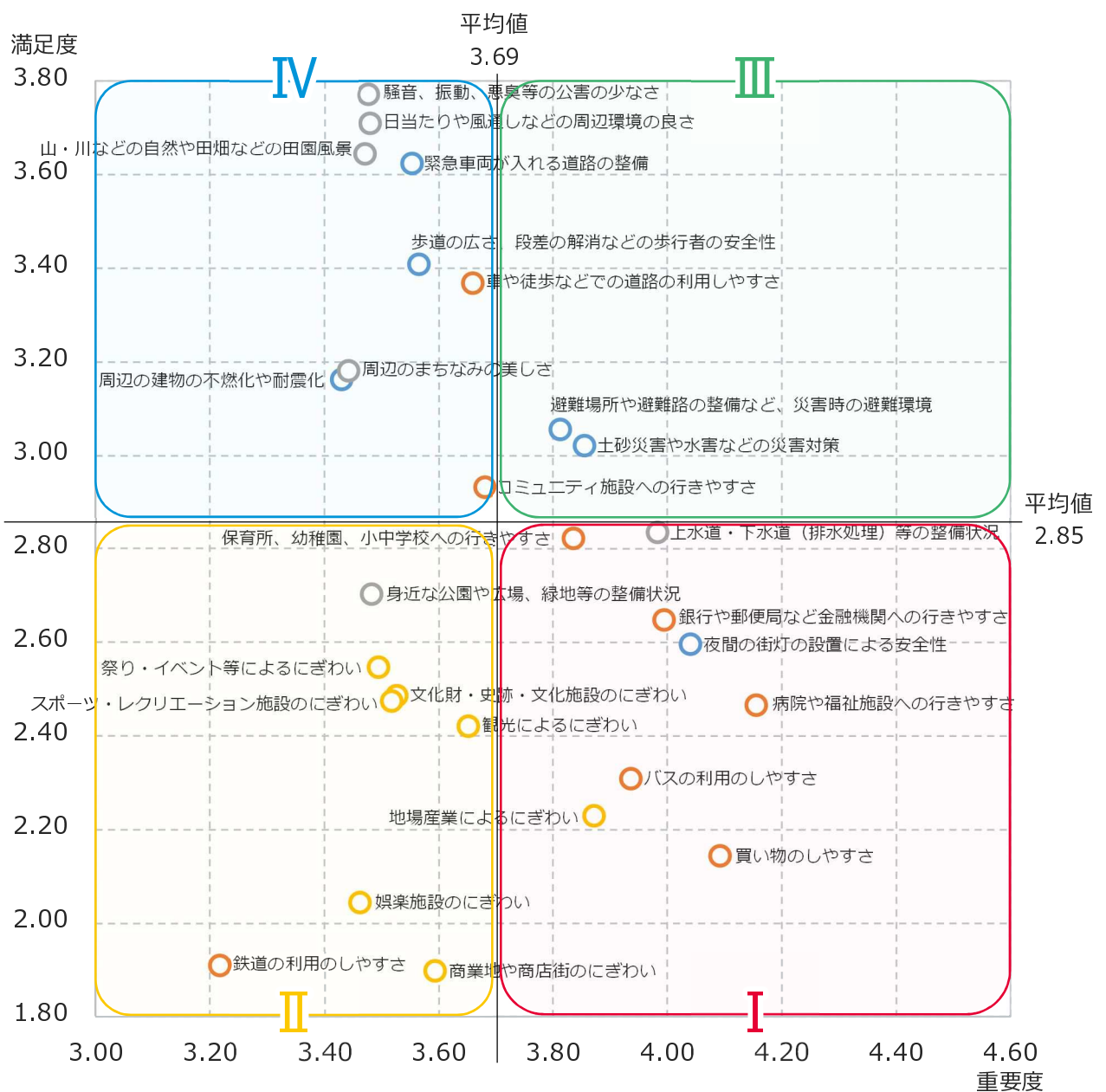
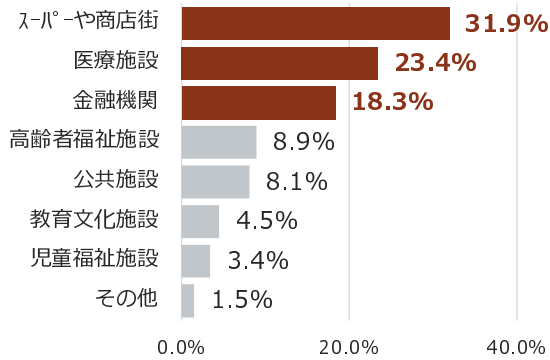
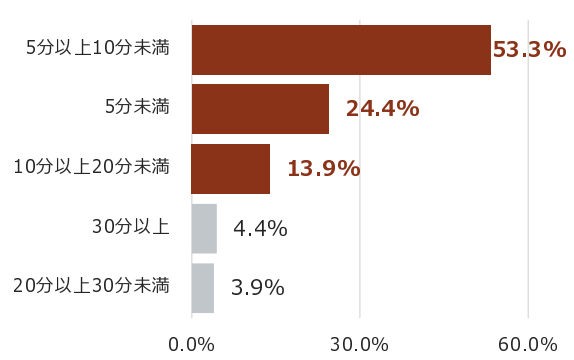


図 分類評価（美東地域）

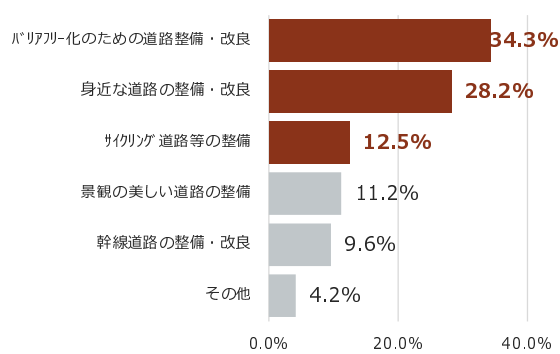
Q. 生活に必要な施設（3つまで）



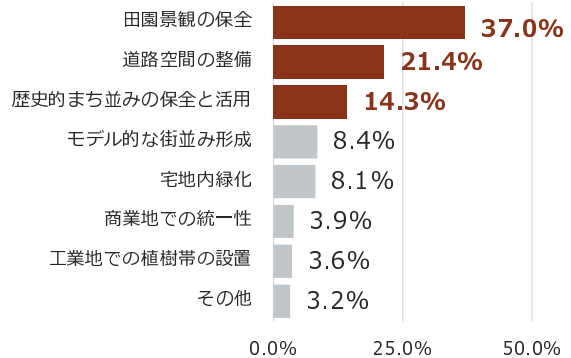
Q. バス停までの所要時間



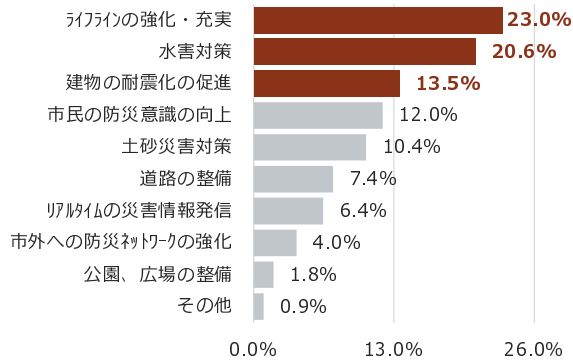
Q. 道路整備の優先順位（2つまで）



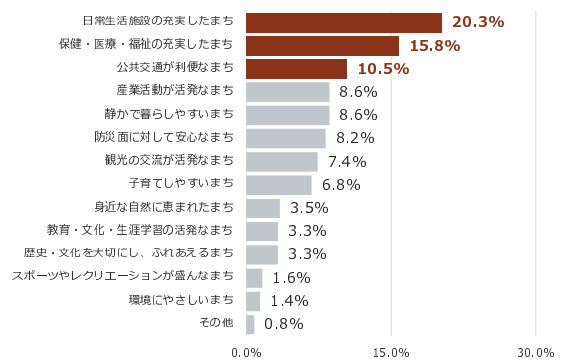
Q. 景観を守るために必要なもの（2つまで）



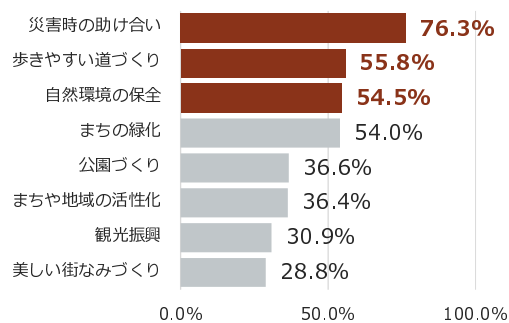
Q. 災害対策の優先順位（2つまで）



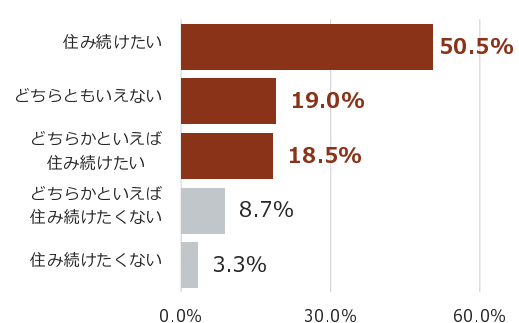
Q. 今後の重要なまちづくり（3つまで）



Q. まちづくり活動への参加意向 (参加したい、できれば参加したい)



Q. 定住意向

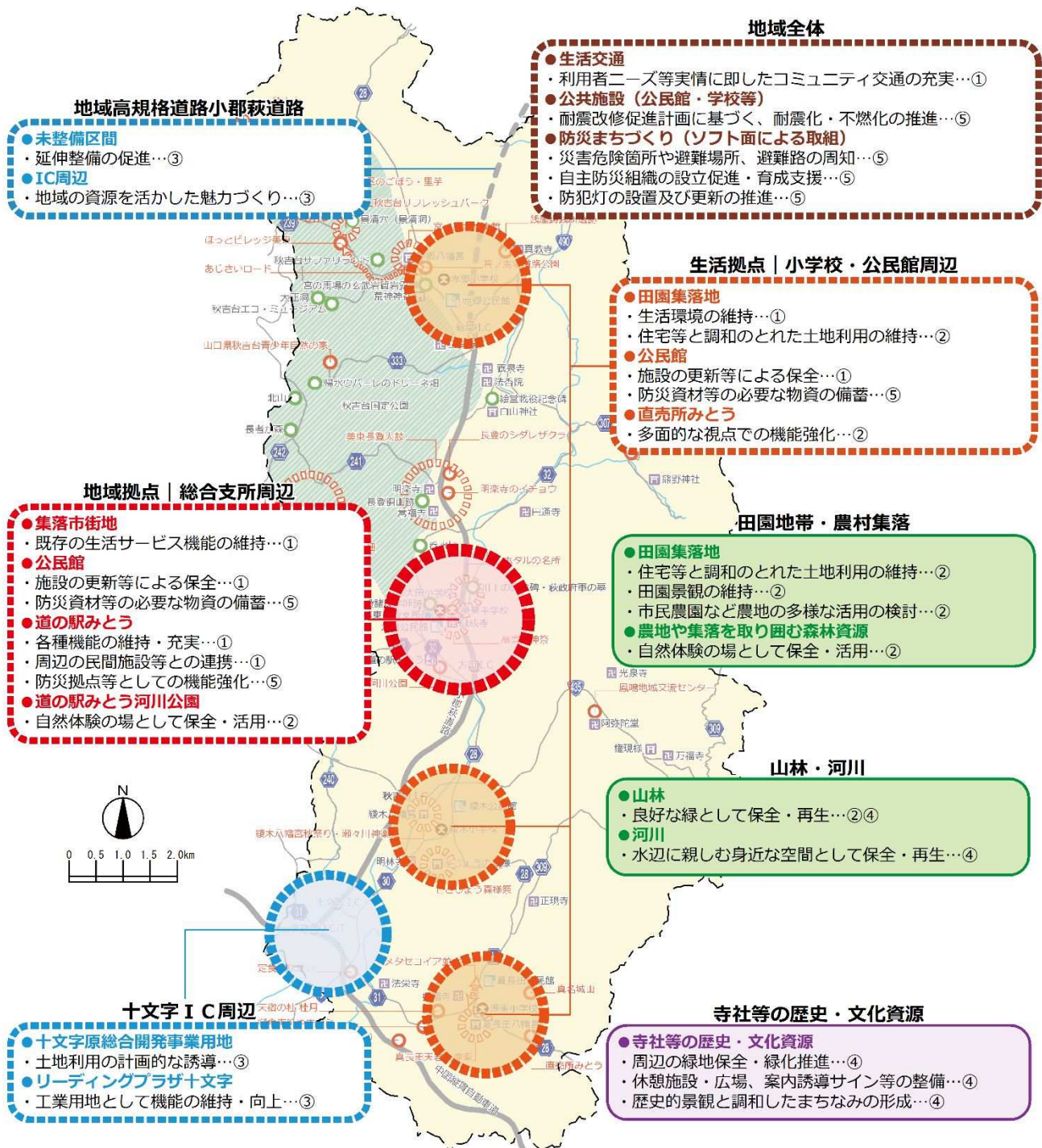


※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

3 美東地域のまちづくり方針

地域の歴史や文化、癒しを育むまちづくり

- 取組① 住み続けられる集落市街地環境づくり
- 取組② 豊かな自然環境や田園景観を大切にすまちづくり
- 取組③ 交通アクセス性の高さを活かしたまちづくり
- 取組④ 歴史・文化・自然資源を活かしたまちづくり
- 取組⑤ 協働による防災まちづくり



取組① 住み続けられる集落市街地環境づくり

< 特性と課題 >

美東町大田地区の集落市街地は、美東総合支所等の公共施設や、店舗や病院等の生活サービス機能が集積しており、地域拠点として本地域全体の日常生活と地域活動を支える役割を果たしています。

住民意向では、本地域における今後の重要なまちづくりとして、「保健・医療・福祉の充実したまち」「日常生活施設の充実したまち」の実現が求められています。

これらのことから、集落市街地は、美東地域の生活を支える地域として、既存の各種機能の維持・充実に努める必要があります。

取組方針

- 美東町大田地区の集落市街地は、美東総合支所をはじめとする公共施設や、道の駅みとうを中心に集積する既存の生活サービス機能の維持に努め、本地域全体の日常生活と地域活動を支える地域拠点として市街地環境の充実を図ります。
- 道の駅みとうは、地域拠点を担う重要な施設として、また、観光交流のための情報発信拠点として、各種機能の維持・充実に努めるとともに、周辺の民間施設や旧市街地と連携した役割を果たします。
- 田園集落地において、小学校や公民館が集積している地区を「生活拠点」と位置づけ、豊かな田園景観や山林・河川など豊かな自然を身近に感じながら暮らすことのできる居住の場として、その生活環境を維持していきます。
- 本地域内に点在する公民館は、地域のコミュニティの維持・育成のため、施設の維持・更新等に取り組みます。
- 利用者ニーズ等実情に即したコミュニティ交通の充実や、多様なサービスの提供について検討し、通院や買い物など生活利便性の確保に努めます。
- 快適な市民生活を確保するため、地域の状況に即した汚水処理施設等の整備を推進します。



美東総合支所



美祢市立美東病院

取組② 豊かな自然環境や田園景観を大切にしたまちづくり

< 特性と課題 >

本地域は、大田川沿いに田園地帯と農村集落が広がり、赤郷地区のごぼうをはじめとする各地域の特産品は地域の活力や風景を特徴づける貴重な地域資源となっています。

住民意向では、「地場産業によるにぎわいの創出」や、景観を守るために必要なものとして、「田園景観の保全」が求められています。

これらのことから、農村等の既存集落における地域の活力やコミュニティを維持するため、良好な営農環境や居住環境の維持に努めるとともに、農地と集落が一体となった田園景観について、地域を特徴づける良好な自然景観として保全していく必要があります。

取組方針

- 山林の豊かな緑や河川のせせらぎに囲まれ、まとまった農地が広がる田園景観を維持していきます。
- 田園集落地において、営農環境と調和した土地利用を維持するため、無秩序な開発を抑制し、農業振興施策との連携のもと、良好な集落環境を保全します。
- 農地は、生産機能に加え美祢市内や近隣の都市住民等のレクリエーションや高齢者の生きがいづくり、生徒・児童の体験学習等の場として、市民農園など多様な活用を検討します。
- 直売所みとう等の農産物直売所は、地域の活性化や情報発信、地域の憩いの場などの公益的役割を有しており、多面的な視点での機能強化に努めます。
- 道の駅みとうに隣接する大田川河川公園の親水空間や、農地や集落を取り囲む森林資源は、自然体験の場として保全・活用を図ります。
- 山林は、林業の生産活動の場であるとともに、地域の景観、自然環境を特徴づけ、自然災害の防止、水源涵養等に寄与する機能を有することから、森林づくり推進事業等を活用し、良好な緑として保全を図ります。

<地域別意見交換会での主な意見>

【まちづくりの資源】

- 水が綺麗で、ホタル等の希少生物が多い
- 景観に配慮した道路環境（真名地区県道 28 号線沿いのメタセコイア並木等）
- 農産物等の特産品（赤郷地区の里芋、ごぼう） ● 美東名産物直売所 ● 道の駅みとう

【まちづくりのアイデア】

- 農業体験（ごぼう抜き体験、料理教室）、オーナー制度等による都市住民との交流
- 農業の後継者育成
- 鳥獣対策等の日常的な維持管理

取組③ 交通アクセス性の高さを活かしたまちづくり

< 特性と課題 >

本地域は、中国縦貫自動車道と地域高規格道路小郡萩道路が結節し、IC が 4 箇所、JCT が 1 箇所整備されており、周辺市町等への交通アクセス性が非常に高い地域となっています。住民意向においては、その特性を活かしたまちづくりが求められています。

また、地域高規格道路小郡萩道路の十文字 IC 周辺には、十文字原総合開発事業用地やリーディングプラザ十文字等が位置しており、その恵まれた交通条件を活かした、新たな産業集積や雇用創出、観光交流の拡大等の取組を推進していくことが求められます。

これらのことから、関係機関等との連携のもと、産業振興や、観光活性化、定住促進等、交通アクセス性の高さを活かした施策を講じていくことが求められます。

取組方針

- 圏域間交流を通じた地域活性化や観光交流の促進を図るため、地域高規格道路小郡萩道路の延伸整備を促進するとともに、IC 周辺等において、地元と連携しながら、地域の資源を活かした魅力づくり等に取り組みます。
- 地域高規格道路小郡萩道路の十文字 IC 周辺に位置する十文字原総合開発事業用地は、その恵まれた交通条件を活かした産業振興や雇用創出、観光交流の拡大等の観点から、土地利用の計画的な誘導を推進します。



美祢東 JCT



地域高規格道路小郡萩道路と中国縦貫自動車道

< 地域別意見交換会での主な意見 >

【まちづくりの資源】

- 中国縦貫自動車道に近接するなど、交通アクセスを活かしたまちづくり

【まちづくりのアイデア】

- 十文字原総合開発事業用地の有効活用
- 通過交通に対する対策
- 交通アクセス性の高さを活かした PR と住宅団地の増築

取組④ 歴史・文化・自然資源を活かしたまちづくり

< 特性と課題 >

本地域は、金麗社や願就寺をはじめとする社寺や、綾木秋祭り等の祭事、長登太鼓や神楽をはじめとする伝統芸能など、古くから受け継がれてきた豊かな歴史・文化資源を有しています。

これらの歴史・文化資源を後世に継承するため、関係機関等との連携のもと、その周辺一体の自然や景観・風景等を含めた面的な保全に努めるとともに、観光・交流に資する資源として活用を図っていくことが求められます。

取組方針

- 社寺等の歴史・文化資源については、観光振興施策と連携を図りながら、周辺の緑地保全・緑化推進や、休憩施設・広場の整備等により、歴史を活かした憩いと交流の場として、活用を図ります。
- 建築物や工作物、屋外広告物の誘導方法の検討などにより、社寺等の歴史的景観と調和したまちなみの形成を図ります。
- 本地域に分布する歴史資源や主要な施設を結ぶ案内誘導サインの設置や、散策路の整備等を推進し、回遊性の向上を図ります。
- 大田川等の河川は、水辺に親しむ身近な空間として、保全・再生を図ります。
- 桂木山など地域の大半を占める山林等の保全・再生を図ります。



金麗社



長登銅山文化交流館

<地域別意見交換会での主な意見>

【まちづくりの資源】

- 長登のしだれ桜や、明葉寺のイチヨウの木など自然豊かな社寺
- 社寺での祭事が多い（大田願就寺の祭り、綾木秋祭り、どじょう森大明神社の祭り 等）
- 伝統芸能が多い（長登太鼓、瀬々川神楽舞）
- 金麗社（大田絵堂戦役跡）、銭屋鋳銭所遺跡
- 桂木山からの眺望

【まちづくりのアイデア】

- 情報発信（施設情報マップの作成と活用）
- 社寺での祭事や神楽等の伝統行事、歴史的な所を回る歴史散策ツアーの開催
- アクセスルート整備と駐車場の確保、フォトロゲイニング等の開催
- 伝統芸能・農業の後継者育成
- 観光案内看板の維持管理・充実や、観光地のバリアフリー化、自転車道の整備と活用促進等

取組⑤ 協働による防災まちづくり

< 特性と課題 >

本地域は、田園地帯と農村集落が大田川沿いに広がっていますが、大雨・洪水による浸水災害等の災害リスクの高い地区が存在しており、山口県により河川改修整備が進められています。現在、大田川は、美祢市立美東病院より上流が未整備区間となっており、早期の河川改修が大きな課題となっています。

住民意向では、本地域における今後の重要なまちづくりとして、「防災面に対して安心なまちの実現」が求められており、災害対策の優先順位として、「ライフラインの強化・充実」「水害対策」「建物の耐震化の促進」が求められています。また、まちづくり活動への参加について、「災害時の助け合い」への参加意向が高くなっています。

これらのことから、関係機関等との連携のもと、総合的な治水対策等を推進するとともに、市民や企業の「自助」「共助」を支援し、地域における防災力の向上を図ることが求められます。

取組方針

- 耐震改修促進計画に基づき、赤郷交流センター等の避難施設や、緊急輸送道路沿道の建築物をはじめとする公共施設の耐震化・不燃化を推進するとともに、老朽建築物や旧耐震基準の建築物等の耐震改修を促進します。
- 緊急輸送道路、避難路等に位置づけられている橋梁等の耐震補強等の整備を推進します。
- 公民館や教育施設等の避難所において、防災資材や生活に必要な物資の備蓄を図ります。
- 道の駅みとうは、休憩・情報発信、地域連携等の機能に加え、大規模災害時等における防災拠点や市民の避難場所としても機能するよう、管理者と連携を図ります。
- 地域の防犯及び交通安全の確保のため、住民自治組織との連携のもと、防犯灯の設置及び更新を推進します。
- 山地を原因とした自然災害から市民の生命・財産を守るとともに、水資源や緑に囲まれた豊かな生活を実現するため、県と連携を図りながら治山・治水事業を推進します。
- 「自助」「共助」の考えに基づき、市民一人ひとりの防災意識の高揚を図ることで地域の自主的な防災活動を促進し、災害に強いまちづくりを推進していきます。
- 各種ハザードマップ等の活用や住民自治組織の活動等を通じて、災害危険箇所や避難場所、避難路の周知を行うとともに、防災意識の啓発や自主防災組織の設立促進・育成支援を図ります。



大田川未整備区域

